

チームで挑む腫瘍循環器

がん治療が進歩する一方でこれまでなかったような心臓の副作用が課題になることが増えており、その克服にはチーム連携が不可欠です。本セミナーでは、専門家たちがどう連携してがん治療の完遂を目指すかの実際を解説します。

参加費
無料
要事前
申し込み

2026
1/10 土
10:30-12:00
(web開場 10:00)

開催方式

オンライン開催・途中参加&退出OK

対象者

がん医療に携わる医療従事者
がん医療を志す学生

お申し込み方法

参加申し込みは専用WEBサイトから
<https://forms.gle/KrE5UWPf3jmXmYHg7>



申し込み締切：1月9日(金)

プログラム

10:30~10:35 開会挨拶 矢富 裕先生 国際医療福祉大学大学院長

セッション1 チーム医療講演 座長：平田 尚人先生 東京薬科大学 薬学部 臨床薬剤学教室 准教授

▶10:35~10:55 がん薬物療法を担当する薬剤師からみた腫瘍循環器の視点

藤堂 真紀先生 埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部

セッション2 症例検討 座長：田村 雄一先生 国際医療福祉大学 医学部 循環器内科学 教授

▶10:55~11:30 irAE心筋炎をもとにしたケースディスカッション

今岡 拓郎先生 国立がん研究センター東病院 循環器科

ディスカッサント：筑波大学 佐藤希美先生・札幌医科大学 神津英至先生・大阪医科大学 藤阪保仁先生
～ミニレクチャー：バイオ製剤使用の注意点～

白井 悠一郎先生 日本医科大学付属病院リウマチ・膠原病内科 講師

セッション3 特別講演 座長：森 毅彦先生 東京科学大学 血液内科 教授

▶11:30~11:55 “3M”神経系と心臓の免疫関連有害事象のクロストーク

鈴木 重明先生 東京都立神経病院脳神経内科 副院長

Closing remarks

▶11:55~12:00

佐瀬 一洋先生 順天堂大学大学院 医学研究科 臨床薬理学 教授



主催：次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン／日本腫瘍循環器学会／IC-OS Japan Chapter

共催：地域に貢献する北海道がんプロ養成プラン／東北広域次世代がんプロ養成プラン

関東次世代のがん専門医療人養成プラン／高度化・多様化するがん医療を担う人材育成／地域に生き未来に繋ぐ高度 がん医療人の養成／地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成／阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン／次世代の九州がんプロ養成プラン

後援：全国がんプロ協議会学際領域部会

<問い合わせ先>国際医療福祉大学大学院 がんプロ事務局

TEL : 03-5574-3900 (平日9:00~17:00) E-mail : ganpro-jimukyoku@ihwg.jp